

特別企画展

和装 モダン

2018
10・18(木) → 11・22(木)

休館日=日曜・祝日、10月29日(日) 10月28日(日)は学園祭のため開館
開館時間=9:30~17:00【入館無料】

会期中のイベント

すべて参加費無料
講演会のみ事前申込制
詳しくは当館ホームページの
「イベント情報」をご覧ください。

- ①講演会「蓄音器で聴く大正・昭和」
- ②ギャラリートーク
当館学芸員による展示室での展示品解説
- ③スライドトーク
当館学芸員による講義室での
みどころ解説
- ④博物館見学ツアー



東京家政大学博物館
東京家政大学内・百周年記念館5階 展示室

特別企画展

和装モダン

2018・10・18(木) → 11・22(木)

[開館時間] 9:30~17:00 (入館は閉館の30分前まで)

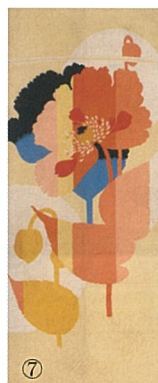
[休館日] 日曜・祝日、10/29 (10/28は学園祭のため開館)

[入館料] 無料

大正時代以降、女性の社会進出や社交の場の増加により、そこに出かけていくための衣服の需要が高まりました。正装ではない実用的な洋服が紹介されるようになってもお、女性たちの多くは慣れ親しんだ着物をその衣服として選びました。

そんな女性たちのために、百貨店や婦人雑誌は生産地とタイアップして、新商品を次々と打ち出して流行をつくり出し、和服の中にもさまざまな選択肢を用意しました。また、流行の中心が正装から訪問着に、そして普段着に移っていくことで、より多くの女性が流行を楽しめるようにもなりました。

本展では、大正から昭和時代前期までの女性の着物を中心に展示し、和服が日常着であった時代の華やかでモダンな和の装いをご紹介します。



①~④大正から昭和時代前期の着物・帯による着装 ⑤振袖 縮緬地洋花模様 大正時代 ⑥単衣 緞地縦縞舟模様 大正から昭和時代前期 ⑦昼夜帯 平絹地芥子模様 昭和時代初期 ⑧昼夜帯 モスリン地薔薇蝶模様 大正から昭和時代前期
*会期中、一部展示替えを行います。スケジュール等は当館HPで随時更新します。(①~⑧は通期展示)

イベント情報

企画展関連イベント【すべて参加費無料】

講演会「蓄音器で聴く大正・昭和」

蓄音器から流れる大正・昭和期のレコードを聴きながら、当時の流行音楽やレコードについてご解説いただきます。

[講師] 郡 修彦氏(郡音楽事務所代表・音楽史研究者)
[日時] 11/17(土) 14:30~16:00(開場14:00)
[会場] 中会議室(百周年記念館4階)
[参加方法] 事前申込制 10/18(木) 9:30~
当館HPまたは企画展受付にて受付
[定員] 50名 *定員に達した時点で受付終了

ギャラリートーク

当館学芸員による展示室での展示品解説

[日時] 11/1(木)、11/14(水)
15:00~(45分程度)
[参加方法] 15:00に企画展受付へお越しください

スライドトーク

当館学芸員による講義室でのみどころ解説

[日時] 11/6(火)、11/19(月)
15:00~(45分程度)
[会場] 中会議室(百周年記念館4階)
[参加方法] 15:00までに中会議室へお越しください

博物館見学ツアー

企画展・常設展の解説と収蔵庫見学

[日時] 10/22(月)~10/26(金)
15:00~(45分程度)
[参加方法] 15:00に企画展受付へお越しください

博物館講座【参加費無料】

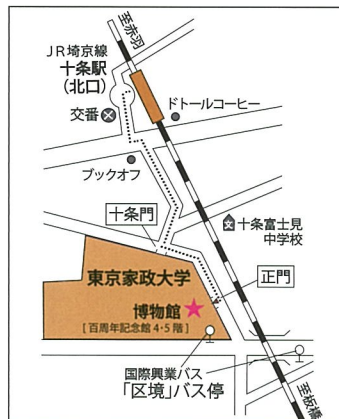
「アート・ゾーンとしての上野・谷根千」

当館館長による全2回の講座

[講師] 手嶋尚人(当館館長・本学造形表現学科教授)
[日時] ①12/1(土) ②12/15(土)
全2回 *1回のみ参加も可
各回とも13:00~14:30(開場12:30)
[会場] 中会議室(百周年記念館4階)
[参加方法] 事前申込制 10/18(木) 9:30~
当館HPまたは企画展受付にて受付
[定員] 50名 *定員に達した時点で受付終了

常設展のご案内【入館無料】

常設展① 学園の歴史：学園の歴史と創設者
渡辺学園裁縫雛形コレクション他
常設展② コレクション展示：グアテマラ民族衣装



*ご来館の際は守衛室で「博物館入館証」をお受け取りください。

電車 JR埼京線十条駅(北口)より
十条門まで徒歩5分
十条門より博物館まで徒歩3分
バス JR王子駅より国際興業バス
「板橋駅」行きにて8分
バス停「区境」下車徒歩1分



東京家政大学博物館

東京家政大学内・百周年記念館5階 展示室

東京都板橋区加賀1-18-1 Tel.03-3961-2918

<http://www.tokyo-kasei.ac.jp/hakubutu/>